



# Atsushi Tani Concert

- 28. May. 2016 -



## Program



F. シューベルト・作曲：  
「セレナーデ ~ Stäedchen」

F. プーランク・作曲：  
「愛の道 ~ Les Chemins de l'Amour」

アイルランド民謡／谷篤・訳／編曲：  
「私が林檎の花なら (ロンドンデリーの歌)」

ポーランド古謡／工藤幸雄・訳／林光・作曲：  
「ばらを植えよう」

谷 篤 (たにあつし) バリトン

三重県津市出身。東京芸術大学大学院修士課程修了。日、仏、独、伊、露、英の古典から現代までの歌曲を広くレパートリーとし、様々なコンサートに出演、邦楽器との共演も多い。邦人作品初演、新作オペラ出演も数多く、バリトンからカウンターテナーの音域までを歌う他に類の無い卓越した表現力と演技力は、高い評価を得ている。自身の表現の場として「歌の行方・3回」、「うみたてたまごうた・11回」、「ひとときの歌・15回」を企画主催、14作品を委嘱初演、朗読を交えたコンサートを実施。CD「よだかの星」、「金子みすず・歌と朗読」リリース。

語り手として、音楽と朗読のための「イノック・アーデン」、「プラテローと私」、「兵士の物語」を翻訳、公演。シューマン作曲「子供の情景」と共に朗読する詩集「エオリアンハーブ」、シューマン作曲「森の情景」と共に朗読する詩集「シューマンの情景」作詩、公演。99年NHKラジオ第2放送にて「武満徹エッセイ集 全11回」朗読。合唱指導者として関東、北海道にて9団体を指導。コーラスのための編曲と訳詩、多数。北海道網走市にて朗読サークル「声の教室」を指導。北見市で、地域の音楽愛好家との共同作業「きょうの音楽を考える会」の顧問を務め、音楽会や講習会などを企画、実践し、地域の音楽文化振興に貢献。

近年津市にて演奏活動を展開し、地元音楽家とのジョイントコンサートや、ソロリサイタルを開催。2014年より津市教育委員会と協力し、市内小中学校で音楽の歴史をたどる独自の学校公演を開催（今年も開催予定）。

東京芸術大学音楽学部非常勤講師。歌曲伴奏法を担当。詩と音楽に対する深い洞察と多様な経験に基づき、歌曲のピアノ表現を指導。日本大学芸術学部映画学科非常勤講師。俳優を志す学生に歌を通しての自己表現を指導。

